

ソーシャル・データサイエンス研究科博士前期課程 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科博士前期課程は、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

本研究科博士前期課程では、社会科学とデータサイエンスが融合するソーシャル・データサイエンスの教育を通じて、最先端の知識を自ら活用し、新たな課題を発見し解決に導くことができるソーシャル・データサイエンスのスペシャリストの養成を目指すことを使命としています。

このような人材を社会に送り出すため、本研究科博士前期課程は、以下のような知識や能力を備えた学生を受け入れたいと考えています。

- (1) 社会科学とデータサイエンスの基礎知識
- (2) グローバルに展開する社会科学やデータサイエンスの研究成果を修得し実践するために必要な日本語及び英語でのコミュニケーション能力
- (3) ビジネスの理解・分析・革新や社会課題の理解・分析・解決を実行するための思考力
- (4) ビジネスの理解・分析・革新や社会課題の理解・分析・解決を実行しようとする意欲

2. 入学者選抜の基本方針及び多面的・総合的な評価方法

上記の能力を備えた学生を選抜するため、本研究科博士前期課程では、以下のとおり入学者選抜を実施します。

一次選考では、研究計画書等の書類審査による選抜を行います。

二次選考では、一次選考の合格者に対して、社会科学とデータサイエンスの融合のための基礎知識を問う筆記試験を実施し、一次選考及び筆記試験の結果を総合して選抜を行います。

三次選考では、二次選考の合格者に対して、ビジネスの理解・分析・革新や社会課題の理解・分析・解決を実行するための思考力や意欲を問う口述試験を実施し、二次選考及び口述試験の結果により選抜を行い、合否を決定します。

選抜にあたっては、専門分野の基礎知識と論理的な思考力に重点をおきつつ、日本語及び英語の能力も含めて、総合的に評価します。

ソーシャル・データサイエンス研究科博士後期課程 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科博士後期課程は、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

本研究科博士後期課程では、ソーシャル・データサイエンスの研究フロンティアを開拓し、最先端の知識を用いて社会実装を行える、ソーシャル・データサイエンスの研究開発人材の養成を目指すことを使命としています。

このような人材を社会に送り出すため、本研究科博士後期課程は、以下のような知識や能力を備えた学生を受け入れたいと考えています。

- (1) 社会科学（ビジネス・イノベーション及び社会課題解決に関連する分野）とデータサイエンスの高度な知識
- (2) ソーシャル・データサイエンスの研究フロンティアを開拓するための思考力
- (3) ビジネス・イノベーションや社会課題解決を実現しようとする意欲
- (4) グローバルに展開するソーシャル・データサイエンスの研究フロンティアを開拓し、ソーシャル・データサイエンスの最先端の研究成果を社会実装するために必要となる、英語での高度なコミュニケーション能力

2. 入学者選抜の基本方針及び多面的・総合的な評価方法

上記の能力を備えた学生を選抜するため、本研究科博士後期課程では、以下のとおり入学者選抜を実施します。

一次選考では、研究計画書等の書類審査による選抜を行います。

二次選考では、一次選考の合格者に対して、研究計画書等の提出書類の内容をふまえた口述試験を実施し、一次選考及び口述試験の結果により選抜を行い、合否を決定します。

選抜にあたっては、専門分野で求められる高度な知識と論理的な思考力に重点をおきつつ、社会実装への意欲や英語での高度なコミュニケーション能力も含めて、総合的に評価します。